

諏訪湖よさこい

取組に至る背景・事業の目的

経済状況が低迷している昨今、岡谷市も例外ではない。(公社)諏訪圏青年会議所では、地域を活性化させることを目的としている。

この事業は、(公社)諏訪圏青年会議所を中心に、市民・行政が一体となり企画・運営を行っていく。企画・運営を進める中で、参加者同士がコミュニケーションをとり信頼感と連帯感、達成感を感じてもらえらると考える。これは、これからの地域のまちづくりを行う中で、市民が力を合わせれば、地域を活性化できることを感じてもらうと考える。

また、事業の中では、地域内外から多くの「踊り連」「観客」の参加が見込めるため、地域の魅力・特色を盛り込んだ食品ブース・産業ブースを出展し、地域内外に発信する機会になると考える。

事業内容

諏訪圏青年会議所が地域住民参画の下、諏訪湖よさこい実行委員会を立ち上げ、企画運営を行った。

諏訪湖よさこいでは、諏訪湖をバックというロケーションの中で踊るため踊り連は参加し、踊りを見る為に観客が集まり、観客と踊り連は、出店ブースにて諏訪地域を感じてもらった。

開催日時：平成26年9月14日(日)9:00～20:00
会場：岡谷市湖畔公園



【第2回諏訪湖よさこいの様子】

事業効果

- ①当日は42団体の踊り連と約3500人の観客が来場し、40店舗のブースにより地域を発信する事が出来た。
- ②昨年より大勢の観客に来場してもらった。
夜までの開催ということで、諏訪圏域で宿泊をしていく踊り連も多くみられた。
- ③フィナーレの総踊りでは、会場全体で踊ることで踊り連・観客・実行委員会メンバーが一体感を持つ事が出来た。
- ④実行委員会の立ち上げから始まり、諏訪湖よさこいの企画運営に地域住民を巻き込むことで、街づくりに触れてもらえたと思う。

工夫・苦労した点、課題、今後の取組など

開催日の選定段階から、他のイベントとの調整を行っていく。調整を行うことで、踊り連の参加団体数を増加させて行く。踊り連の参加が増える事で、諏訪湖よさこいの知名度が上がり、県外からの観客の来場に繋がると考える。

また、現在岡谷市湖畔公園で開催しているが、今後は、諏訪湖周にて開催することを考えている。各地市町村を巻き込み、各地域の合同開催ではなく、諏訪圏住民祭を目標として運営を考えて行く。

【選定のポイント】

住民と一緒に作り上げていくことで地域活性化やまちづくりを担う人材が育成されるとともに、観光誘客の促進が期待される。

| | | | |
|--------|---|-------|------------|
| 団体名 | 公益社団法人 諏訪圏青年会議所 (諏訪市) | 事業タイプ | ソフト事業 |
| 連絡先 | 0266-54-6980 | 事業費 | 6,290,500円 |
| ホームページ | http://www.suwaken-jc.jp | 支援金額 | 2,207,000円 |